

単元名 わたしたちの暮らしを支える政治
～羽曳野市 住みやすい町ランキング 1 位をめざして 模擬選挙をしよう！～

教科書出版社名 (教育出版)

○ 小学校 (6) 年 教科等 (社会・国語・図画工作・総合的な学習の時間)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力) ※今回はおもに社会科のみ

○地方公共団体の政治の働きについて理解するとともに、統計などの各種資料を通じて、情報を適切に調べまとめる技能を身につける。

○地方公共団体の政治の特色や生活との関連や意味を多角的に考え、社会に見られる課題を把握しながら、その解決に向けて社会への関わりを考え、考えたことを説明したり、議論したりする力を養う。

○地方公共団体の政治の働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の将来を担う国民としての自覚を養う。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

○図書館にある選挙に関わる複数のグラフを読み取ることで、現在の日本の課題について考え、日本の投票率をあげる方法を自分なりに考える。

○マニフェストを考えるにあたって、説得力をもたせるために必要な資料やデータを見つける。

○選挙演説の台本を、図書館資料のお手本を見ながら作成する。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

【情報収集】・学校図書館の資料のデータから、投票率における日本の課題を読み取る。

・学校図書館の資料から、自分の主張を裏付ける資料を複数見つけ出す。

【整理・分析】・投票率における日本の課題に対して、自分なりの解決策を考える。

・自分の主張を裏付ける複数の資料から、必要な資料を整理し、活用する。

【まとめ・表現・発信】・羽曳野市が住みやすい町ランキング 1 位になるために、必要な政策について、政党の主張をまとめ、模擬選挙の際に演説する。

○ 学習の展開 (全 27 時間 社 8, 総 7, 国 10, 図工 2)

(学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)

第 1 次 5 時間 (社 4 総 1)	・現在の日本における問題 (核家族化や少子高齢化など) を知り、行政は国民のニーズに応えようとする具体的な取組みや組織について知る。(☆)
第 2 次 4 時間 (総 2 社 2)	・日本の投票率の課題についてグラフを読み取りながら考える。(☆) ・選挙広報を読み取り、政党やマニフェストなどについて読み取る。(☆)
第 3 次 18 時間 (国 10 総 4 図工 2 社 2)	・羽曳野市を住みやすい町にするための市民のニーズをインタビューやアンケートを活用して集め、項目ごとに分類整理する。 ・グループで政党をつくり、マニフェストや選挙広報、選挙ポスターを作成し、模擬選挙に取り組む。(☆)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい

現在の日本の選挙の投票率の状況についてグラフを読み取り、投票率の低下に関わる原因とその改善策について考える。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5分	<p>1. 選挙に対するイメージを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日本の選挙の投票率の状況をグラフから読み取ろう。</p> </div>	
20分	<p>2. 3種類のグラフ(衆議院議員選挙の投票率・年齢別の投票率・選挙にあたって考慮した政策)を読み取り、日本の選挙に対する課題を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々投票率が下がっている ・高齢者の投票率が高く、若者の投票率が低い ・高齢者は年金や医療・介護に興味があり、若者は子育て・教育に興味がある。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>学校図書館司書に授業内容を説明し、適した資料を用意してもらおう。</p> <p>【本時使用図書例】 「池上彰のみんなで考えよう 18歳からの選挙4 やってみよう 模擬選挙」(2016年文溪堂)</p> </div>
15分	<p>3. 国民が選挙に行かない理由を考え、グラフを読み取りながらその理由を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事が理由で行くことができない。 ・期日前投票の仕方が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人が投票に行かない理由を図書館資料から読み取ることで、投票に行く必要性を捉えさせる。
5分	<p>4. 日本の投票率をあげるキャンペーンを考え、本時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票に行かないと、自分たちの考えが反映されにくいことが分かった。 ・自分たちが納めている税金が、自分たちのために使われていないことがあるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・投票に行くということは自分たちの将来や今後の日本をつくっていく上で重要であることをおさえる。

図書館活用ポイント



市民のニーズを分類する。



市民のニーズをもとにマニフェストを考え、選挙演説をする。